

2021年度立正地理学会研究発表大会の開催のお知らせ（第2報）

2021年度研究発表大会は、オンライン方式で開催いたします。

日時：2021年10月16日（土）9時40分～17時20分（予定）

開催方法と注意点：

- ・オンライン方式（Zoom使用）にて実施します。
- ・それぞれのセッションなどにZoomのミーティングIDとパスコードを設定し、管理・運営します。
- ・ZoomのミーティングIDとパスコードについては、10月16日午前8時までに立正地理学会HPの会員専用ページに掲載します。これらを入力し、各セッションにご参加ください。
- ・学会パスワードは、7月30日付で皆さんにお送りした文書「会員専用サイト開設について」において、お知らせ済みです。不明な会員は、前日までに geosoc@ris.ac.jp へお問い合わせください。
- ・発表者と参加者は、それぞれの場所から発表・参加をお願いします。
- ・口頭発表と優秀卒業研究発表は、発表15分と質疑応答5分、全体の持ち時間は20分です。
- ・地理写真説明は、一人2分以内をお願いします。
- ・座長は、それぞれの場所から参加いただきます。時計係は事務局が担当します。
- ・参加者は、Zoom下部の「参加者＞詳細＞名前を変更」でご自身の「氏名（所属等）」の表記をし、ご参加願います。
- ・質問は、Zoom中の「リアクション」において手を上げ、座長の許可を得て発言をお願いします。チャットを使用した質問も受け付けます。

プログラム：

・第1セッション（口頭発表）

- 9：40～10：00 初澤敏生（福島大）：COVID-19の流行が修学旅行に与えた影響
- 10：00～10：20 亀井啓一郎（立正大・非）：学生に聞いた好きな地図記号
- 10：20～10：40 伊藤徹哉（立正大）：リヒテンベルガーのデュアルサイクルモデルからみた都市再生研究の展開

・第2セッション（2020年度優秀卒業研究発表）

- 10：40～11：00 小林知寛（東京技工（株））：埼玉県東松山市東平地区における梨を活用した観光農業の取り組みと課題
- 11：00～11：20 石田彩貴（（株）パスコ）：熊谷市南東部荒川右岸における水屋・水塚の分布と利用状況

〈休憩〉

・第3セッション（立正地理学振興会による表彰式と地理写真説明）

- 11：40～12：00 優秀卒業研究賞の表彰式
田中啓爾記念地理学奨励賞の表彰式
- 12：00～12：10 地理写真説明
大石雅之（気象庁）：宮城県品井沼地域における江戸時代からの水害対策
宇津川喬子（立正大）：アイルランド・ダブリン近郊の地形と景観
島津 弘（立正大）：上高地における2020年、2021年に生じた地形変化
島津 弘（立正大）：市場の中を列車が通る～タイ、メークローン市場

〈昼休み〉

・第4セッション（口頭発表）

- 13：20～13：40 戸田真夏（青山学院大・非）：房総丘陵の平滑岩盤河床について
- 13：40～14：00 河野 忠*（立正大）・渡来 靖（立正大）：山形県朝日町「浮島大沼」における浮島現象の解明

14：00～14：20 宇津川喬子*（立正大）・島津 弘（立正大）：写真から読み取れるニューカレドニア島嶼の海岸線変化

・第5セッション（口頭発表）

14：20～14：40 鈴木厚志*（立正大）・崎浜 靖（沖縄国際大）：近代期宮古島におけるマラリア防遏対策とその地域的変化—防遏所勤務者の記録による—

14：40～15：00 小松陽介（立正大）：インドネシア共和国マラン市のスラム街における水利用

〈休憩〉

・第6セッション（会長講演）

15：15～16：15 吉本 勇（就実大）：街の変化を読む

・懇親会（オンライン方式）

16：20～17：20頃 全体会と分科会で構成します。

全体会：開会の辞、会長挨拶、会員近況報告

分科会：テーマ毎の部屋を設け、楽しくおしゃべりします。

予定するテーマは、火山・防災、沖縄、街歩き、乗り物、食べ物・自然などです。

全体会：今年度後半と来年度の立正地理学会行事について、閉会の辞

*発表者

内容に変更があった場合、必ず立正地理学会 HP にご連絡します。定期的にご確認下さい。

お問い合わせは集会委員会（geosoc@ris.ac.jp）まで。